

## 平成15年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤

平成15年度岩手県病害虫防除基準に新規に採用した殺虫剤の中から、代表的な農薬の試験結果と使用上の留意点について紹介する。

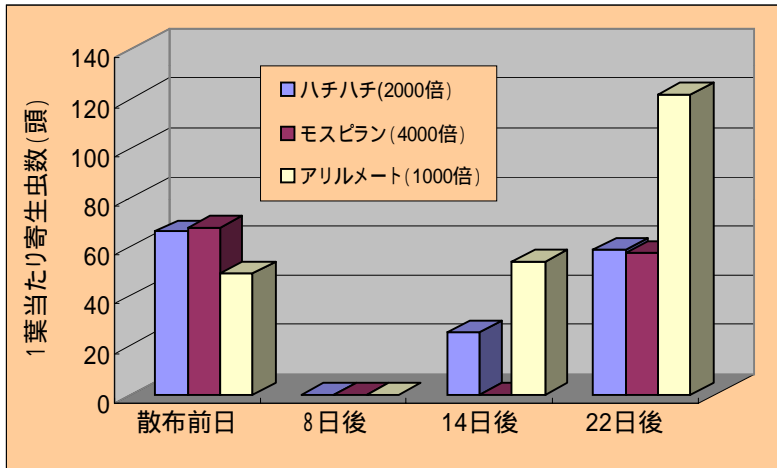


図1 きゅうりのワタアブラムシに対する防除効果(H14 岩手農研)

新規殺虫剤トルフェンピラド(商品名:ハチハチ)乳剤2000倍液の散布14日後におけるアブラムシ密度抑制効果は、既存剤のエチオフェンカルブ(商品名:アリルメート)乳剤1000倍液よりやや高いが、アセタミプリド(商品名:モスピラン)水溶剤4000倍液よりやや劣り、両剤の中間的な効果を示した。(散布:8月6日、1区9株、2連制、1株10葉調査)

図2 キャベツのコナガに対する防除効果(H12 岩手農研)

新規殺虫剤トルフェンピラド(商品名:ハチハチ)乳剤2000倍液のコナガに対する密度抑制効果は、既存剤テフルベンズロン(商品名:ノーモルト)乳剤2000倍液と同等で、散布13日後まで非常に高い。(散布:6月3日、1区10株、2連制、)

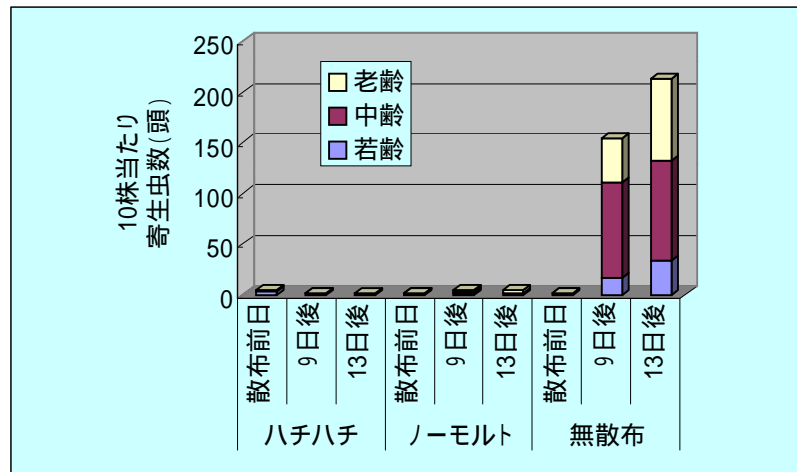


図3 ピーマンのワタアブラムシに対する防除効果(H14 岩手農研)

新規殺虫剤チアメトキサム(商品名:アクタラ)顆粒水溶剤3000倍液は、既存剤イミダクロプリド(商品名:アドマイヤー)水和剤2000倍液と同等の高い密度抑制効果がある。また、イミダクロプリド(商品名:アドマイヤー)顆粒水溶剤10000は、水和剤と比較して葉斑による果面汚染が非常に少ない製剤である。(散布:6月13日、1区5株、各株5葉調査)

